



馬酔木は万葉集にもよく詠まれているツツジ科の植物で、早春にスズランに似た可憐な花が咲く。シガが食べないため奈良公園にも多く生育する。

あ せ び 馬酔木通信

No.31 Winter 2013



大学間連携によせて

学長 馬越 かよ子

人々の学び方や価値観が多様化する中において、大学が自らの枠の中だけで教育研究を進めていくには学生のニーズに十分応え切れない状況となってきています。特に、限られた年数の中で学びを完成させ、学生を社会へと送り出して行かなければならない短期大学では、学生の社会人としての基礎力育成に力を注ぐとともに、高度の資格等を目指してより深く学びたい学生には、そのような場を提供することが必要となります。

また、人生80年と言われ、技術革新が進む時代の中で、学び直しの場としてあるいは新たな資格取得の学びの場として短期大学を選択される人々も視野に入れながら更なる教育内容の充実を図ることが求められます。

本学は、これまで奈良県立大学を初めとして放送大学や種智院大学、若羽調理専門学校と単位互換協定を結び、学生が広く学べる環境の創出に努めてまいりました。

さらに、国内だけでなく中国の大連大学とは交流に関する協定を結び、本年4月から交換留学生が本学で日本語や日本文化、日本ビジネス等を学んでいます。

他大学等との連携・交流は視野の広い人材を育成するとともに教育や研究の改善に大いに資するものであることから、今年度、新たに相愛大学、羽衣国際大学、桃山学院大学と連携・交流に関する協定を結びました。いずれの大学も学生に対する思いは熱く、本学の一人ひとりの学生に対する“ほっとかない教育”をより充実させるために、この連携や交流を実りあるものとしていきたいと考えています。また、短期大学から4年制大学へ

の道筋を示すことにより、学生の学びの意欲が高まりステップアップした進路へと選択幅が広がることと思います。

相愛大学では、管理栄養士取得や小学校教諭一種免許状取得が、羽衣国際大学では管理栄養士取得に加えてメディアや観光関係への進路が、また桃山学院大学では経済学部や経営学部への編入が可能となりました。さらに、これらの大学は留学生の受入れが可能であり、本学留学生にとって4年制大学への編入の道が開かれました。

一方、本学の教職員は、学生が豊かな人間性と専門の知識技能を身につけ社会に貢献できるように、常に教育研究に力を尽くしています。その一環として文部科学省の事業に果敢に申請し、取組を進めています。

本年度は、大学間連携を基とした「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に滋賀、京都、奈良にある16大学（短期大学は本学のみ）が共同事業として申請し、採択されました。他の15大学と共に産業界のニーズに対応した人材育成に取組んでまいります。惜しくも採択には至らなかった「大学間連携共同教育推進事業」では、東海大学短期大学部や金城大学短期大学部と共に「保育者の自律的継続的な成長を支える連携養成プログラム」の構築を計画したことは、本学の保育者養成に大きな礎になっていると自負しています。

このように様々な手法により展開している本学の大学間連携は、学生の成長に大きく貢献するとともに教職員の夢を膨らませるものであると確信し、今後とも進めてまいりたいと考えております。

本学の取組が文部科学省に評価される

産業界のニーズに対応した教育改善・ 充実体制整備事業に採択

奈良佐保短期大学は、文部科学省 平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択されました。採択された取組は、「滋京奈地区を中心とした地域社会の発展を担う人材育成」（代表校：京都産業大学）です。本事業には全国の国公私立大学等から9件（139大学）の申請があり、8件（128大学）が採択されました。

この事業は、産業界のニーズに対応した人材育成の取組を行う大学・短期大学が地域ごとにグループを形成して、地元の企業、経済団体、地域の団体や自治体等と産学協働のための連携会議を設置して取組を実施することにより、社会的・職業的に自立し、産業界のニーズに対応した人材の育成に向けた取組の充実を図る優れた大学グループの取組を、国が支援するものです。

近年、若年層の早期離職が問題になっています。事実、本学においても、卒業後に就職して現場に立ったとき、学生時代に描いていた現場とのギャップの大きさに戸惑ったり、求められる知識・技術・倫理の不足から職務を継続することに困難を感じたりして、離職を考える卒業生の相談に応じる機会が増えてきました。

このことから、第一に、学生は、自ら課題を見出し実践する力を十分に身につける必要があること、第二に、地域・産

業界との非連続性が問題のひとつになっているという課題がみえてきました。この2つの課題にこたえるためのプログラムを構築するのが本事業の目的です。

本学では、在学中の授業カリキュラムや実践の場である学外実習等での学びをより一体化し、包括的な課題解決能力を高めるプログラム開発を行い、産業界のニーズに対応した人材を育成していきます。

「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に採択

奈良佐保短期大学は、文部科学省 平成24年度「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に採択されました。採択された取組は「アクティブラーニングに繋げる双方向シアター型学習環境の創出」です。

この事業は、私立大学が建学の精神と特色を生かした人材育成機能を発揮し、及び大学間連携を進め、もって社会の期待に十分に答える教育研究を強化し、進展させ、私立大学の教育改革のこれまで以上の新たな展開を図るため、基盤となる教育研究設備を整備することを目的としたものです。

奈良佐保短期大学では、学生が、受身的な学びから自らが意欲を持って能動的な学びになるように、さらなる環境整備を進めます。学生が能動的な学びを創出するための「空間」「時間」「仲間」を有機的に機能させるために、現在、多目的に使用されている学生ホールの整備を行っています。

「聴き書き」の取り組み

「聞き書きボランティア」をご存知ですか。地味な活動ですが、最近、少しだけブームになっております。

現代生活において核家族化が進み、世代の違う高齢者の方々の話を聞く機会が減りました。また、子どもたちも職業人もとても忙しい生活のなかにあって、電話よりもメールの時代に。特に、地域のお年寄りのこれまで生きてこられた人生から学ぶこと、昔のこと、長年の暮らしからのとっておきの話などは味わい深いものに感じられます。

聞くだけではもったいない、せっかくのお話を小冊子に書きまとめ、残しておこうという活動が聞き書きボランティアです。

先日、奈良佐保短期大学サテライトキャンパスのある三条町にお住まいのSさんに、お話を伺うことができました。聞き手は本学生活未来科生活福祉コースの有志4名です。学生で話し合っ、「聞く」という文字を「心を込めてよく聞く」という意味で、「聴く」から「聴き書き」と題して取り組みました。

完成した小冊子のなかにはSさんがそこに居られるような書き方になっています。ご苦労されたお話からは、教訓めいたものが、また癒しが。身近な地域の昔のことを聴くと今あるものをもっと興味をもって大事にしたいなったり…

聴き書きをして何だか温かくなった有志学生でした。ご協力くださいましたSさんをはじめご紹介くださった方々、どうもありがとうございました。



三条町の地図ができたのよ。
昔からこの漢国神社がね…

「聴き書き」小冊子



地域への発信

10月29日(月) 80ちゃん号が奈良佐保へ

NHKラジオ第一でふるさとへの力、日本の元気を毎日発信している「ここはふるさと旅するラジオ」の公開生放送が行われました。進行は、北村紀一郎アナウンサー、ゲストに堀内孝雄さん、お兄さんの良雄さんを迎え、奈良の魅力が伝えられました。

地域こども学科1回生の森田千春さんが奈良市と大学の紹介を、生活未来科食物栄養コース2回生の福富香奈さん、千代紗生さん、篠田桂子さんが農園野菜や収穫物で作ったオリジナルメニュー「落花生豆腐」「里芋ごはん」

「奈良茶巾」を紹介しゲストの堀内孝雄さんにも召し上がっていただきました。この回は視聴者からのリクエストが多く、11月16日にセレクション放送もされました。



11月10・11日(土・日) 第4回ならスイーツコンテスト

イベントでお菓子を販売

1月26日の開催にむけたPRイベントが学園前駅北のパラディで開催されました。食物栄養コース1回生がクッキー、シフォンケーキなどの焼き菓子を販売しました。

12月2日(日) 奈良県中央卸売市場

「冬の市場祭り～市場の鍋フェスタ」に出店

食物栄養コース2回生が「みんなでほっこり 大和野菜DE東北元気にぎわい鍋」を販売しました。東北の鍋「ひつつみ」を大和伝統野菜や地元野菜を使用し作りしました。大和茶粉茶を練りこんだ「大和茶ひつつみ」、鮭バーグを入れた「オリジナルだまこ」を目玉に具だくさんのお鍋を約200食販売しました。

12月9日(日) オリジナル案山子が奈良マラソンランナーを応援！！

こどもや保育士、栄養士、介護福祉士、ビジネスなど学科、コースでオリジナル案山子を作成し、奈良マラソン2012を沿道から盛り上げました。

寒い中、厄ヶ辻折り返し地点と護国神社付近で学生も集合しランナーに声援を送りました。



好評です！ならさほ元気っずクラブ

地域こども学科では、1回生科目「身体表現Ⅰ」（月・水・金）を、子育て支援センター夢の丘SAHOと共催で「ならさほ元気っずクラブ」として地域の親子を招いて、4回コースの親子体操を行っています。はじめての試みでしたのでどのような反響があるか不安でしたが、定員をはるかに上回る参加をいただいております。運動遊びの大切さが認められつつあることを実感しています。

学生たちは、準備、後片付けの役目のほか、「指導」「受付」「下の子の託児」「記録」など毎回の役割を交代で務め積極的、意欲的な態度で教室運営に参加しています。プログラムは、ボールなどを用いたふれあい体操、手をつないだりして走るかけっこ、飛び箱や平均台を用いたサーキットから成り、担当教員である村田の指導の下、保育現場に出た際にすぐ実践できる内容を行っています。またこのような内容は、保護者の方にもたいへん好評で「運動能力を伸ばす遊びをわかりやすく教えてくださいました」「こどもの

こんな楽しそうな笑顔をはじめて見ました」「佐保の学生さんの優しい態度に好感が持てます」などの感想をいただき、それが学生の原動力ともなっています。

親子体操と名がつくと、とかく運動能力や体力の向上だけに視点が行きがちですが、体操を通じて、親子いっしょの時間を共有することで「子育てはたいへんだけど、やっぱり我が子はかわいいな」と思える時間となります。

これからも本学では地域に貢献できるような活動を学生とともに提供したいと考えております。



就職活動

生活未来科ビジネスキャリアコース 2年生 高橋 邑欣

私が就職活動を始めたのは2月頃からでした。

世間では就活が既に始まっており、そろそろ私もしないとという感じでした。とりあえず、慣れない大阪での合同説明会に出席したのですが、私は周りの大学生に圧倒されました。私との必死さがあまりにも違ったのを鮮明に覚えています。

奈良や大阪の合同説明会へは10回近く足を運びました。私はこれといったやりたい仕事もなかったのですが、まずは、業種別の仕事内容から学んでいき、工場やスーパー、レストランなど、片っ端から調べていきました。私に向いた仕事がない限り、その分野に絞って、話を聞きに行く事で、ある一つの建設会社に興味を惹かれ、内定までいただきました。

就活は、見知らぬ地へ出て、慣れないスーツを着て、知らない人と喋るといふ、それはとても私には怖いものでした。大阪に出

れば道に迷い、周りの大学生と自分との意気込みの違いに気づき、選考の時の尋常でない緊張感、短大生というだけで断られ、これと言った資格もなく、何度も何度も挫折するようになりました。逃げ出したい気持ちでいっぱいでした。

そんな中、キャリア支援センターを始め、学校の先生方、周りの友人、家族、同じく頑張っている就活生、企業の人などなど、本当に皆様に支えられました。逃げずに頑張ることができました。本当にありがとうございました。

短い期間だったかも知れませんが、私の人生にとって、忘れられない時間を過ごしました。就活を通して得たものは、私にとって、とても大きなものです。周りの方々に日々感謝し、春からは社会人として頑張りたいと思います。

～大連大学からの交換留学生～

生活未来科生活福祉コース 特別聴講生 王 穎



大連大学看護学院（看護学）から9月末に来ました。日本での1年間で、専門知識と日本語と、日本の文化もたくさん身につけたいです。日本料理や服装、祭などにも関心があります。介護の専門科目の授業は言葉が聞き取りにくく理解するのが難しいですが、「日本語・日本事情」の授業は面白くて楽しいです。授業を受けていると、日本の学生はチームワークが良いなど、文化の違いも感じます。

日本に来たばかりの頃は、すべてが目新しいでした。奈良の町や学校も環境が良く、先生もクラスメートもやさしく、今は日本の生活に慣れてきました。いろいろ理解するためにも、言葉の勉強を日々積み重ねることが重要だと感じています。

1年間の留学でたくさんの収穫を得たいと思っています。

第48回大学祭（佐保祭）卒業生・在学生・教職員交流会開催

第48回の奈良佐保短期大学大学祭「天晴！佐保祭！～佐保のまんまでやっちゃって～」のテーマのもと10月20日、21日に開催されました。

期間中の21日には第3回卒業生・在学生・教職員交流会をレストラン鹿野園で行いました。様々な現場で活躍する元気な卒業生の話を熱心に聴く在学生の姿、卒業生と教職員、卒業生同士が情報交換を行う様子など和やかな時間はあっという間に過ぎてしまいました。

大学祭では毎年恒例のクラス対抗ダンス大会、カラオケ大会、運動会、模擬店、また各学科による展示コーナーやおたまじゃくしコンサート、同窓会あせび会によるお茶席など来場して下さった皆様にも楽しんでいただき、本学の様々な面を知っていただく機会になりました。イベントのラストは、屋上から学生たちが仲間や先生に自分の思いを叫ぶ「佐保の主張」、フィナーレと奈良佐保がひとつになり、喜びや感謝を分かち合う時間になりました。数年ぶりに天候にも恵まれ、温かい日差しのもとで歓声と笑顔の絶えることなく無事に2日間の日程を終えることができました。



クラス対抗ダンス



運動会



卒業生・在学生・教職員交流会

なら子育て大学

奈良県下で保育士養成課程のある5大学が連携して、「公開講座 なら子育て大学」を開催します。
子育てについて学べる講座のほか、親がリフレッシュしたり、親子一緒に楽しめる講座もなど、また、子育て支援関係者や子育てに関心がある方が学べる講座もあります。
詳しくは、奈良県ホームページをご覧ください。

本学では下記の通り、開催いたしますので、どうぞご参加ください。

子どもの世界を広げる	1/23(水) 10:30-12:00	子育て支援者 先着30名 託児無し	子どものしぐさや表情の中に、言葉にならない思いがたくさんあります。支援者として子どもの世界を広げてみませんか。あなたの世界も広がります。
簡単なおやつ作り	2/9(土) 10:30-12:00	0歳から4歳児の保護者 先着25名 託児あり	大学の先生が、子どもの栄養を考えた簡単、安心の手作りおやつを紹介します。一緒に作りましょう。 *エプロン・三角巾・手拭きタオルをお持ちください。 *材料費負担をお願いします。
親子で元気っす体操	2/16(土) 10:30-12:00	満3歳から就学前の親子 (子ども複数参加可) 先着30名 託児あり	ダイナミックに体をいっぱい使ったババならではの遊びを体験し、今日からお家や公園でお子様と一緒に出来るメニューを紹介します。 *動きやすい服装で越してください。

公開講座2012 夢の丘セミナー

パレンティン大作戦!!

パティシエに学ぶちょっとしたコツでより本格的なお菓子を初心者でも失敗しないお菓子を紹介します。

2月3日(日) 13:00~15:00

*申込み方法など詳しくは本学ホームページをご覧ください。



お問合せは、奈良佐保短期大学 地域共生センター 公開講座事務局まで
TEL: 0742-61-3858 (代) FAX: 0742-61-8054
Email: s-gakusyuu@narasaho-c.ac.jp

学生による発表会・報告会のご案内

●地域こども学科

卒業発表会 2013年1月19日(土) 大和郡山城小ホール
13:00~14:50 フィールド成果発表会「保育者」プラスをめざして
15:00~16:00 「子どもも大人も笑顔☆キラキラDancing♪」だるまBROS.

●生活未来科 食物栄養コース

給食管理実習報告会 2013年1月23日(水) 本学

●生活未来科 生活福祉コース

事例報告研究会 2013年2月5日(火) 本学

●生活未来科 ビジネスキャリアコース

卒業研究発表 2013年2月5日(火) 本学

●生活未来科 3コース

卒業研究報告会 2013年2月11日(月) 奈良県文化会館小ホール
13:00~14:00 講演会「専門職に求められるもの」
14:00~15:30 2年間の学び、卒業研究発表

●専攻科福祉専攻

修了論文発表会 2013年3月6日(水) 本学

それぞれの専門性を活かした学習成果発表です。是非ご覧ください。

新しいメインデッシュが登場

国産牛のビーフシチューやハンバーグきのこジャポネーズソースなど6品のメイン料理からお選びいただけます。ディナーにはスーパードリンクも登場。地元野菜をふんだんに使ったサラダや惣菜と一緒に楽しみください。



営業時間

授業日

ランチ:13:00~15:30 (L.O. 14:30)

ディナー:17:30~21:00

(水曜日はディナー定休日)

休校日(土日祝、春休みなど)

ランチ:13:00~15:30 (L.O. 14:30)

ディナー:17:30~21:00

大学行事などで営業時間が変更になる場合があります。詳しくは本学HPをご覧ください。



電話:0742-62-3802



第4回 ならスイーツコンテスト in 大和郡山

食物栄養コース1回生がチャレンジ部門(10:00~12:00)に出場します。お菓子の販売も行いますので、是非お越しください。

2013年1月26日(土) 10:00~17:00

会場: マークスWホテル奈良(JR郡山駅東口前)

高円 - たかまと -

詳しくは、「ならスイーツコンテスト」HPをご覧ください。



奈良佐保短期大学キャリアアップ支援事業

社会人特別選考

今までの学びや経験をもとに、資格取得して就職し、社会で活躍する人を求めます。

入学金免除+授業料半額免除(2年間)

対象学科

生活未来科(生活福祉コース・食物栄養コース・ビジネスキャリアコース)

出願資格

社会人(大学卒業予定者も含む)

入試日程

見学・受験相談は随時
入試・広報センターまで

	試験日	出願期間	合格発表日
一般入試1期 エントリー入試 専攻科入試 社会人特別選考	2013年2月2日(土)	1月18日(金)~1月25日(金)	2月5日(火)
一般入試2期 エントリー入試 専攻科入試 社会人特別選考	2013年3月2日(土)	2月15日(金)~2月22日(金)	3月5日(火)
エントリー入試 専攻科入試 社会人特別選考	2013年3月13日(水)	2月27日(水)~3月6日(水)	3月14日(木)

エントリー受付中 2013年2月27日まで随時受け付けます。

*エントリー入試: AO入試・留学生入試などは、エントリー・面談後、上記試験日に受験します。

春のオープンキャンパス 3月16日(土) 11:00~14:30
進路決定の参考に是非お越しください。★詳細は、本学HPをご覧ください。

